

# わかる地図指導は子どもの目線で

帝国書院広報室

## ■子どもの目線 大人の目線

子どもたちに地図の指導をする際に、強く感じるのは、「子どもの目線と大人の目線は違う」ということです。先生方は日々のご指導のなかで感じておられると思いますが、私どもにとっては、新鮮な発見でした。そこで、今回は地図に対する「子どもの目線と大人の目線」について述べていきます。

## ■横から見た景色 上から見た景色

普段、私たちは住宅や店舗が建ち並ぶ市街地、稲穂が実る田、緑豊かな山々などの景色を横からの目線でとらえています。同時にそれらの景色を真上からとらえ抽象化し、平面図に表したものが「地図」であることを理解しています。

つまり、「横から見た景色」と「上から見た景色」、「立体」と「平面」、「具体」と「抽象」をある程度、頭の中で自由に行き来することができるわけです。しかし、子どもにとっては、「横から見た景色」と「上から見た景色」をうまく繋げられないため、地図の読図が困難になっているのではないのでしょうか。

## ■「わくわく島」で「地図のヒミツを探そう」

私どもでは、「横から見ている立体的で具体的な景色」を「上から見て平面的に抽象化して表す」という地図のなりたちを子どもたちが理解できるよう、このしくみを「地図のヒミツ」と名付け、「わくわく島」という架空の島を舞台とする指導法を開発

しました。

帝国書院のホームページ (<http://teikokushoin.co.jp>) に指導案を掲載しています。



トップページから「How to 地図活用」→「小学校・地図指導案の広場」→「地図のヒミツを探そう」をクリック！

ここでは、この指導案をベースに出前授業をおこなった際に感じたことを述べていきます。

授業は、まず、「わくわく島」を真横から見た絵地図と真上から見た絵地図を見せます。具体的な指導内容は指導案にゆずりますが、ここで、注意すべき点は、真横からの地図と真上からの地図が同じ場所を表したものであることをきちんと理解させることです。

前述の通り、大人であれば同じ「わくわく島」だと理解できても、子どもにとっては必ずしもそうではないということが、授業を通してだんだんとわかってきました。その点を踏まえて、両方の地図から「二つの山の高さの比較」「飛行場の位置」「島の形」といった共通の課題を調べさせると、二つの地図が同じ場所を異なった視点からとらえたものであることを理解できるようになります。この作業を通して「真横からの地図でわかること」と「真上からの地図でわかること」をさがしていくと、真上か

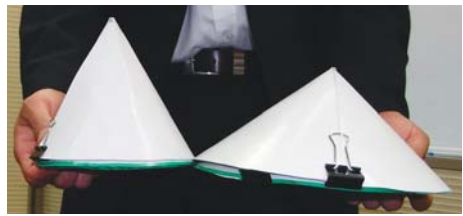
らの地図、すなわち私たちが普段、活用している地図は、飛行場の位置や島の形などはわかっても、山などの土地の高さはわからないことが発見できます。

ここで、「真上からの地図でも山の高さがわかるようにする方法があります。」と話したうえで、等高線の学習をします。このひと言を加えることで、等高線の持つ意味を子どもたちがすんなりと受け入れることができます。

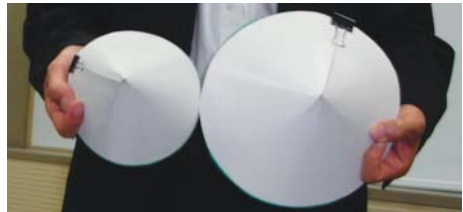
この授業をはじめたころは、指導案に記したように、黒板に、真横から見た山に等高線を引いた図とそれを真上から見た図を書いて、説明していました。しかし、これだけでは、なかなか、子どもたちに理解してもらえないことがわかってきました。そこで、最近では、高い山と低い山を象った模型を使って説明しています。それぞれの模型に高さ100メートルごとに等高線を引き、同じ高さの部分に同じ色を塗ります。そうすることで、真横から見たときはもちろんのこと、真上から見たときにもどちらが高いかわかります。この模型を作ったことで、子どもたちの理解もグンと深まりました。簡単に作成できますので、ぜひお試しください。

続いて等高線の入った「わくわく島」の白地図を配り、山の同じ高さの場所や田、畑、市街地などの土地利用の色ぬりをします。また、学校、寺、神社の位置を地図記号から確認します。この作業によって、絵地図では、文字通り「絵」という「具体」で描かれていたものが、地図では「色」や「記号」によって「抽象化」されていることが理解できます。

白地図を完成させることを通して、「目に見える景色を地図化する」という作業をしているわけです。この授業を通して、子どもたちは、地図のなりたちやしくみへの理解を深めてくれました。



横から見ると、どちらが高いかわかります



でも、上から見ると、どちらが高いわかりません



等高線を引いて色を塗ると、どちらが高いかわかります

## ■ホームページから情報発信

前述の通り、子どもに地図の読図を指導する場合「子どもの目線」を理解しなければならないことが、わかってきました。この経験を生かし、私どもでは、ホームページを通して、さまざまな地図指導の実践例を紹介していきたいと考えております。今回、ご紹介しました「わくわく島」の他にも全国の先生方からお寄せいただいた指導案や地図学習のためのワークシートを掲載しています。

等高線のしくみの学習については、「地図・社会科大好きKids」のコーナーにアニメーション「等高線ってなあに？」を掲載しています。ご参照ください。

今後も内容を充実させていきたいと考えています。ぜひ、一度、帝国書院のホームページにアクセスしてみてください。